

すき♥スキ♥大好き

No.60

低・高合同例会 5月13日(土)
15:00開演 メルカつきまちホール



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町 4-26 北村第一ビル 3F

Tel : 095-825-0533 Fax : 095-825-6151

E-mail : sukisuki@bird.ocn.ne.jp

<http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2023年 5月 13日

1. 【新企画】おしえて！こども先生
2. 例会「こまのたけちゃんのあそぶあそび！」
3. 子どもとげき
九州 2023 例会打合せ会（ながさき発表報告）
4. 忍者であそぼ！
5. 春のデイキャンプ
6. 子どもまつり
7. 県連の活動 県高青交流合宿、北島尚志講演会
8. 春キャンプ
9. バザー
10. 乳幼児部クッキー
11. 絵本のとびら
12. 編集後記

^{こんかい}今回は、まさきくん（小学2年生）からの^{しつもん}質問です。



(1) くらきてなに？

(2) なんではしがあるの？

^{れいかいかいじょう}※例会会場にある「こども先生ボックス」に^{せんせい}答えを書いて入れてください。^{こた か い}

舞台鑑賞

★5月例会★

5月 低学年・高学年合同例会

こまのたけちゃんの

あそびあそび!

こまのたけちゃん事務所

芸能

2023年5月13日(土)

15時開演(30分前開場)

メルカつきまちホール

パフォーマンスと、見た後すぐに遊べるワークショップのうれしい2部構成!

こまやけん玉などちょっと努力しないと出来ない遊びをたけちゃんがパフォーマンス。

すごい技やおもしろい技を見た後にワークショップでいろんな遊びに挑戦!

難しくてなかなか出来ないけど、出来ないからおもしろい! 上手く出来ない子はたけちゃんに教えてもらえるよ。

第1部 パフォーマンス

- ・こま
- ・ペーゴマ
- ・けん玉
- ・まりつき
- ・ヨーヨー
- ・中国ごま 他



第2部 ワークショップ

- ・こま
- ・ペーゴマ
- ・けん玉
- ・まりつき
- ・めんこ
- ・中国ごま
- ・皿まわし
- ・ビー玉 他



こまのたけちゃん

(本名: たけだつとむ)

1977年生まれ。静岡県出身。幼児から現在の青年に至るまで、子ども・おやこ劇場に参加。劇場運動の影響から、子どもと関わる仕事がしたい!と思っていたところ、こまのおっちゃんの作品に出会う。「これしかない!」と思い立ち、仕事を辞めてこまのおっちゃんに師事。6年間「日本独楽博物館」に在籍後、現在は東京都にて独立。伝来遊びを通じて、子どもたちに「生きる力」を提供できる作品づくりを目指して奮闘中!



メッセージ

独楽(こま)やけん玉など昔のおもちゃを使ってパフォーマンスをします。子どもたちに、遊びの中から生まれた面白い技やすごい技を見てもらい、『自分もやってみよう!』と思ってもらえるようなパフォーマンスを目指しています。そして、そのあとのワークショップでいろんな遊び方や技を教えます。けん玉やこまが少しでもできるようになったら技に挑戦! 現代のおもちゃは説明書があり、遊び方がきめられているものがほとんどです。しかし、昔のおもちゃには自分で『想像』し、『工夫』する余地がたくさん残されています。この作品では、そんな魅力的なおもちゃを子どもたちに伝えていきたいと思っています。

上演&体験・120分

佐賀へ
乗入れ

★次回例会★

高学年(選択)



2023・9/18(祝・月)
15:00開演
佐賀市文化会館

低学年・高学年(選択)



2023・9/26(火)
19:00開演
メルカつきまちホール

九州沖縄地方子ども劇場連絡会

発表してきました！

2023 年度例会実施打合せ会 2023.3.7 博多市民センター

“舞台芸術の力で子どもをとりまく状況をうちやぶる”という大きなテーマを掲げて、年2回3月と7月に九州沖縄の子ども劇場が集まって交流し学び合っています。全体会では、子どもの成長発達に即した主体的な例会活動の取り組みについて「乳幼児」「低学年」「高学年」毎に事例発表が積み重ねられていますが、今回、ながさき子ども劇場が「オズのまほうつかい」に向けてとりくんだ一連の活動を「低学年」で発表することになり、初参加の里見さんに会を代表して発表してきてもらいました。私たちの会が大事にしていることをあらためてみつめる機会にもなりましたので、その全文を紹介したいと思います。

こんにちは。ながさき子ども劇場・運営委員の里見です。今日は私たちがながさき子ども劇場の例会の取り組みについて紹介したいと思います。

私たちはここ数年「子どもの声を聴く」ということを大切に取り組んでいます。これは、九州沖縄地方子ども劇場連絡会の企画のための交流会で他県の実践を聞いたことにも影響を受けていますし、また、コロナ禍で子どもたちが様々な制限を受け「がまん」したり「あきらめ」たりしている状況の中、子どもたちの思いや心の声を聴くことを大人として心がけよう！とあらためて話し合っただけのことです。

昨年度は、「子ども委員会」で例会企画やクリスマス会を実施しました。そして今年度は、これまで平日に開催していた総会を初めて日曜開催にし、子どもたちが参加できるようにしました。その結果、総会は大成功！子どもたちとともに劇場の状況を共有し、考え合い、子どもの意見を聴くことができたことは、大人たちに大きなエネルギーを与えました。子どもにもわかるようにと事務局がパワーポイントで説明した「お金のはなし」では、小4の子から「赤字はどうやったらなくせますか？」と質問が出るなど、自分の事として捉えてくれていることがわかりました。



総会の中で、大人はブロック毎に、子どもは幼児、低学年、高学年に分かれて、2か月後に迫る特別例会「オズのまほうつかい」にむけての取り組みを話し合い、たくさんのアイデアが出されました。そのすべてを実施するのは難しかったのですが、低学年部では子どもたちから上がった「顔はめパネル」を製作することにしました。日を合わせるのもなかなか苦労しましたが、やはり集まっての共同作業はとても楽しかったです。仕上げは大人も協力して完成させ、当日会場のロビーを堂々と飾りました。来場者が顔をはめて写真を撮り楽しんでくれているのを見て、作ったみんなもうれしく満足顔でした。このメンバーの多くは乳幼児部から一緒に活動してきたメンバーです。

この他にも、オズのまほうつかいへの「ねがいごと」を書く企画や、ハロウィンでも「オズ」にちなんだ仮装をしたり、エメラルドの指輪を作ってプレゼントしたり。秋のデイキャンプでは、バンガローで「かし作り」をしたりと、子どもたちと一緒に存分に楽しみました。

こうして迎えた例会当日。それまでの取り組みが会場に集結しました。作品が持つメッセージも重なり、一人一人の違いや足りなさをみんなの力でつないで実らせる、その豊かさを知る感動の例会となりました。

後日、雪の日に開いた感想交流会でも、幼児、小・中学生、大人にわかれそれぞれに話し合いました。感想交流会もこうして毎年開いていく中で子どもたちの成長がよくわかります。わちゃわちゃして人の話をなかなか聞けなかった子が、人の話を待ってよく聞けるようになっていく姿には感動を覚えます。親以外の大人の関わり、意見を言うことを喜んでくれる場。乳幼児から低学年になった子どもたちが、これから高学年になっていく。自分の話を聞いてもらった経験を、今度は自分たち自身が高学年の集まりの中でお互いの意見を聞いて話し合い、企画・実行し、ふりかえりをしながら積み上げ、また次につないでいきます。



このように日頃から、子どもの声を聴くこと、話し合うこと、そしてともに遊び合うことを大事にしています。意見やアイデアを大事にし、「いいね！」と共感しあえれば、形にしていく。そんなみんなの力が一つ一つの取り組みとなり、積み重ねとなって、私たちの文化になっています。子どもたちは、自分の意見を聴いてもらえる、人に認めてもらえる体験を通して、自分の中にある声や思い、人と違う自分を認め、自分自身を信じてやれるようになっていくのだと思うので、これからもみんながこの文化を育てていきたいと思っています。

★忍者で遊ぼう

3月26日(日)13時30分～17時30分
上長崎ふれあいセンターと新大工商店街
幼児親子10組小学生19名スタッフ13名

アフタフ・バーバンの忍者が3人やってきた!!!長崎では6年ぶりの開催、小4は久しぶり、それ以外のほぼ全員が初参加!!!風呂敷を頭に巻いただけでワクワクです。

＜忍者修行 虎の巻＞

- ①集合、忍者に変身
- ②長剣の修行
- ③長崎忍者現れる
- ④合言葉「山、川、天、地、風、光」
- ⑤グループ分け
- ⑥色探し、暗号解読
- ⑦新大工町商店街に移動
- ⑧写真の場所はどこだ
- ⑨問題を作って他チームと交換(小学生)
ホールに戻って巻物探し(幼児親子)
- ⑩チャンバラ合戦
- ⑪修了の巻物、手裏剣



最後のチャンバラは、子ども対大人の対決です。相手の陣地の旗を取って、なすびに渡したら勝ち。新聞紙の剣で、膝下を切られたらその場で座ります。

それぞれ円陣を組んで、作戦を練ってスタート!

1回戦は子どもチーム、2回戦は大人チームが勝利。そして3回戦は、決して手を抜いた訳ではなく、かなり真剣に戦ったのに…大人は悔しく、子どもは大喜びの結果となりました。

P.S. 午前中のスタッフ向けワークショップ、これがとても楽しかったです。次回スタッフやってみませんか?

4/16(日) 春の市民の森デイキャンプ

【参加者】大人 24 名、中高生 3 名、小学生 17 名、乳幼児 10 名、計 54 名



お天気が心配でしたが野外での飯盒炊飯、カレー作り、竹焼きパンをみんなで楽しみました。今回はお父さん大活躍で飯盒炊飯のご飯が焦げ一つなく、ふっくらおいしく出来上がりました。恒例のカレーも竹焼パンも大好評！大人も子どもも大満足でした。

5月例会にちなんでケビンで紙コップとビー玉を使った簡単な手回しコマを作ったり、外では昔ながらのコマで大人も子どもも夢中で遊びました。最初は出来なかった子たちも何回も練習して、回せるようになり、嬉しそうでした。5月例会もよい流れで盛り上がりそうです！

里見 明日美





子どもまつり

ながさき子ども劇場、5月5日の行事といえ～？

そう！『子どもまつり』！！

ということでこんにちは、実行委員長の増田杏子です。
毎年5月5日に松山陸上競技場で開催している子どもまつりですが、今年は天気に恵まれず平和会館のホールでの開催となりました。時間も短いスケジュールでしたが、それでも大人も子どもも思いっきり遊ぶのが『子どもまつり』！
「ダンボールタワー建設対決」に始まり、大人・OB企画「人間玉入れ」、実行委員企画「旗取りちゃんばら」、ENDon²企画「クモ鬼」、青年企画「人間狩り」、そして「宝探し」と、室内とは思えないほど動いて走ってみんなで大はしゃぎ！
「楽しかったー！」と大人も子どもも笑顔で帰っていく姿に、実行委員長としても満足の一日でした。

一緒に遊んでくれたみなさま、ありがとうございました！
来年はきっと良い天気になるでしょう！……………なるよね？



今回初めて色リーダーをさせて貰いました。

「子どもまつり」という名目ではありましたが、子どもも大人も楽しめる会にできてとても良かったです。

また機会があれば色リーダーをしたいと思います。

黄組リーダー：稗圃 史晃(高1)

今年の子どものまつりは室内だったのであんまり盛り上がりがないかなと思っていましたが、青ブロックのみんなが僕と一緒に盛り上がってくれてとても楽しかったです。また、初めましてっていう方とかともお話ししたり、仲良くなれてとても嬉しかったです。色んな企画も楽しくてとても楽しい一日でした！ありがとうございました！



青組リーダー：秀島 弘兼(高2)



県連の活動

【今回のテーマ】 3劇場で協力して、全力全開で
みんなが笑顔になれるような
交流会にしよう！

★県内高校生青年交流合宿

日時：2023年2月25日(土)10:00～26日(日)16:00

場所：国立諫早青少年自然の家

対象：新高校生以上

	ながさき	佐世保	諫 早	合 計
高校生	4	2	1	7
青 年	3	1	5	9
合 計	7	3	6	16



今年も県内3劇場の高校生・青年が集い交流合宿が行われた。高校時代の3年間はすべてコロナ禍だった高校生たち。この交流会で「たくさん語り合い交流したい」と言っていた。

1日目、巨大ジェンガやキンボールという自然の家ならではの遊びを全力でやりすぐに打ち解けていった。夜のキャンプファイヤーを囲んでの語り企画では自分の夢を語り合っていたのがとても印象的だった。2日目の企画は「あそびを創り出す」というもの。午前午後計4時間で県高校生青年合宿ならではの新しいあそびが誕生し、2日間の交流の中で共有したものからそのあそびの名前(人狼鬼ごっこR)がついた。各劇場に戻ってからもその思い出と共に引き継がれ遊ばれるだろう。

秋から ZOOM で実行委員会を重ね、昨年の反省から、各劇場の代表と別に実行委員長を立てたことで、一部の人の負担が重ならず実行できた。「やりたかったことができた！」と満足げな参加者たちだった。



★県祭典推進事業 北島尚志 講演会

「分かち合う文化の力で 子どもにやさしいまちづくりを！」

2023.3.24(金)19:00～21:00 会場：たらみ図書館・海のホール (来場参加 49 名／アーカイブ 73 名)



舞台公演の取り組みを通して地域のつながりをつくり、子どもが豊かに育つまちづくりをすすめている長崎県子ども舞台芸術祭典。3年以上にも及ぶコロナ禍を経て第28回目を迎える今年、「子どもにやさしいまちとは？」「子どもにとって豊かな文化環境とは？」について共に考えあいたいと、あそび表現活動を通して人やまちをエンパワメントする達人、北さんこと、あそび環境 Museum アフタフ・バーバンの北島尚志さんの講演会を企画した。

“子どもの権利条約 31 条”は「休息・余暇・遊び、文化的・芸術的生活への参加」の権利。日本は、この条約を批准してから 30 年近く経つが、国連子どもの権利委員会から「過度の競争主義が子どもの人格形成をはばんでいる」などの内容で二度も勧告を受けている。さらにコロナ禍で人との関わりが閉ざされたこの 3 年間で、子どもの脳は虐待を受けた脳と同じく、交感神経が常に興奮状態にあるというショッキングな報告もあった。子どもたちは、どこにいても頑張っていないか。わがままの語源は“我が儘(まま)”。子どもたちは、どこで本来の自分でいられるのか。専門家は共通して言っている「勝ち負けではない価値観、競争の外に子どもたちを連れ出そう！」と。子どもの時間は、無駄で、意味のない、余計なこと、大人にはそう見える。しかし、そんな時間の中で自分の「言いたい！決めた！やってみよう！」を何百回も繰り返しながら“私”という主体が形成されていく。「身近な場所に、身近な人といつもと違う風が吹く。面白くするのは、誰かではなく私たち。まちで子どもが育つというのなら、やさしいまちで子どもが育つというのなら、心の奥にしっかりこのことをおさえておいてほしい。子ども時代は、“私”を形成する大事なプロセス、それが崩れたら“私”にはなれない。」…問われているのは、私たち大人だ。(「すくらんぶる」26 号より)

春キャンプ

2023.3.18~19 元宮公園少年交流センター



実行委員長 春キャン日記

【1日目】

消えた青年 vol.1

間に合うように昼からにしたはずの今回の春キャン
なぜか出発時に1人青年が足りないような…

食料争奪戦

食料がタンパク質と炭水化物にいい感じに(?)分かれてよかった ε-(´∀`;)ホ

消えた青年 vol.2

よし皆ご飯ができるぞ!→テーブル出してくる〜🌀🌀→ガタッ!!
しっかりテーブルに噛まれたそうですが、本人曰く担当してくれた方々が
愉快な方たちだったそうでよかった

消えた高校生

おかしいな、現地集合だと聞いたんだが…

18時半頃 家に電話📞10分前にバスで行くって出ていきました。」

1時間待っても来なくて心配したけど、ちゃんと来てくれてよかった

全員人狼

企画としては初めてやったが ENDon²よくやったな、すごく楽しかった。

役職の説明書まで付けてくれるなんてどこまで親切なんだ。

だが最後に妖狐陣営が勝ったのは許せぬ()

【2日目】

チャンバラで突如始まる兄弟対決

チャンバラ個人戦だからって兄弟たちよ、それぞれ好きすぎないかい?

色んなところで兄弟対決が始まってオーディエンス的には湧いたな

1日目の日記に力入れすぎたからって2日目を省略したわけではない!(たぶん)

実長感想

今回初めての実行委員長だったけど会議を回すのはちゃんと出来たと思う。ただやはり前に立って話すのはできる人に
任せようと思った。

今回なぜか心配なことが多かったように感じるけど、全体通すとやはりとても楽しかった!

実行委員長 與那城 雪



劇場バザー

2023.3.5（日）

長崎市民会館前魚の町公園

4年ぶりにやっと開催できた劇場バザー!!

お天気にも恵まれ、新しくなった魚の町公園での実施で今までとは使い勝手が違う心配もありましたがフラットな入口と開放的なスペースでお客さんも立ち寄りやすい感じでした。

3年間たまった古着と日用品を所狭しと並べた様子はこれぞ劇場バザー！

結果、ブルーシートに出し切れずの量でしたが・・・

子どもたちのゲームもブロックでいろいろ考えてくれました。中でも初披露の人間クレーンゲームはアイデアもの。大変盛り上がっていたようです。

販売係もお客さんとのやりとりが楽しかったとかあまり会えない会員さんと久々に出会えたり、子どもたちの様子も一堂に見渡せて楽しいバザーでした。

今回は5月例会「こまのたけちゃん」にちなんで長崎のこま回し名人のやっしさんをお招きし、技を披露したりこま回しを教えていただきました。ご自身特製の巨大こまの迫力は圧巻!! 熱心に教えていただきずいぶんと子どもたちも上達しているようでした。また例会が楽しみになりました。

気になる収益金は目標をはるかに上回る 211,180 円を計上することができました。ブロックでの値付けから前日搬入、当日の販売とご協力いただきありがとうございました。

また来年のバザーをお楽しみに♡



乳幼児部 クッキー

クッキーひろば

毎月1回 日曜日 10:30~14:00

上長崎地区ふれあいセンター

※日程など変わる場合もあります。

事務局にご確認ください。

* 2/5(日) 節分あそび

お手玉やシフォン布を使ってのわらべうたのあとに節分の豆まきならぬ豆あて!!

まずは鬼作りから。好きな色の画用紙を選び新聞紙を詰めて鬼のからだを作ります。顔のパーツを貼り付けたら完成! 1才児さんが豆を当てやすいように横一列に並べたカラフル鬼さんめがけて新聞紙ボールの豆で的当て。豆は当たったり当たらなかったり・・・

みんなの成長と家族の幸せを祈っての鬼退治でしたが、ギュッと抱きしめるくらいお気に入りになった子もいてうちでも遊んでくれたようで嬉しいです。



* 3/12(日) かわいい発表会



3月のクッキーひろばでは、「かわいい発表会」と題して、それぞれが一芸を披露しました。最初は昨年クッキーを卒業したお兄さんの発表! 音楽に合わせて歌って踊って、決めポーズ! 「可愛い~♡」の感想はもちろん、0才の頃から知っていた仲間の成長に感動しました(泣) 最年少の2ヶ月児さんは足の指をママにちょちょよされたらじんわりと指が開くという芸を披露!! からだの不思議を感じます。新入会の6ヶ月の子はWBC にちなんでふわふわボールを「えいっ!」・・・投げるかと思いきや、ぎゅ~っと握りしめて離さない♡笑 可愛い姿に癒されました♡家で何度も練習してきたという子は、緊張しながらもお母さんと手遊びの披露! 最後はみんなで一緒に「とんとんとん♪」の手遊びをして盛り上がりました!!



* 4/23(日) おでかけクッキー 長与つどの家

今回のクッキーひろばは絵の具を使って手形足形をとりました。広い部屋に真っ白な布、その周りにあるカラフルな絵の具を見て、大興奮! お友達の参加も2組あったので、みんなでわいわい賑やかに取り組みました。好きな色を指さして選んだり、ひんやりとした絵の具に触れてびっくりしていた子も徐々に慣れて笑顔が見られたり、それぞれが自分のペースで楽しみました。今回とった手形足形はこのぼりとなって子どもまつりの日に飾られる予定です♡



お昼はSSのみなさんが作ってくれたうどんとおにぎり!! 最高においしかったです。のんびり過ごすことができ、子どもにとってはもちろん、ママにとっても楽しくて大切していきたい時間だと改めて思いました。



ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介していただきます**

縁あって長崎市内のキリスト教主義の保育園の園長になって1年が過ぎました。日々子どもたちを見ていて、つくづく子どもにとって遊びは大事と感じています。思いっきり遊び込める子は他のことにも集中できます。子どもの生活から遊びを取り上げたら何も身につきません。創造力、想像力、独創性、積極性、協調性・・・遊びから得られるものは数知れません。おとなもかつては子どもだったのですから、遊んでいる時の楽しさを思い出してせいぜい遊びの邪魔をしないようにしたいと思うのです。もちろん遊びに誘ってもらった時はありがたく仲間に入れてもらっていますけどね。

◆『さっちゃんとなっちゃん』 浜田桂子作 教育画劇

なかよしのさっちゃんとなっちゃん。性格は違うし遊び方も違うし好きなものも違うけれど、たったひとつ同じものがあります。それは「おかたづけ!」

ふたりが楽しそうに遊ぶ様子に見とれてしまいます。ふたりの想像力にも感心します。そう言えば私も子どもの頃洗濯ばさみを組み合わせて人に見立てて遊んだりしていたなあ・・・子どもが真面目な顔をしてごっこ遊びやおままごとをしている様子はとてもほほえましいものです。こんなふうに遊べる時期ってそう長くはないから大事にしなければね。



◆『もりのなか』 マリー・ホール・エッツ文・絵 まさきりこ訳 福音館書店



「ぼくは、かみの ぼうしを かぶり、あたらしい らっぱを もって、もりへ、さんぽに 出かけました」

森の中へ入っていくというだけでわくわくしてきます。何かが起こりそうな予感がします。さっそく昼寝をしていたライオンに出会うと、目を覚ましたライオンは男の子のあとについてきて、そのあとにもゾウ、クマ、カンガルー・・・と行列は長くなっていきました。皆で楽しく遊んで、さいごはかくれんぼうで男の子がおにになります。ところが目を開けるといつの間にかみんないなくなっていて、かわりにいたのはおとうさん。

「いったい だれと はなしてたんだい?」とおとうさんが ききました。

「どうぶつたちとだよ。みんな、かくれてるの」

「だけど、もう おそいよ。うちへ かえらなくちゃ」と、おとうさんが いいました。

「きっと、またこんどまで まっててくれるよ」

おとうさんのさいごの言葉があったから、男の子は再会を楽しみに森を後にすることができたのでしょね。

◆『わたしとあそんで』

マリー・ホール・エッツ文・絵 よだじゅんいち訳 福音館書店

原っぱへ遊びに行った女の子、バツに「あそびましょ」と声をかけつかまえようとして逃げられてしまいます。そのあとカエルもカメもリスもみんな逃げてしまいます。しかたがないので池のそばにすわってじっとしていると、逃げていったみんながもどってきてくれました。さいごの女の子の言葉は喜びにあふれています。

「ああ わたしは いま、とっても うれしいの。とびきり うれしいの。なげって、みんなが みんなが わたしと あそんでくれるんですもの。」

わたしと あそんで



マリー・ホール・エッツ 文・絵
よだ・じゅんいち 訳

<編集後記>

連休は春のイベント目白押し。皆さんお疲れではないでしょうか？

劇場も活動が活発になってきました。

「2023 年度ごあんない」今回も見やすく、可愛らしく仕上がっています。舞台鑑賞やいろんなことできて楽しいですよ、って知ってもらえるといいですね。広報部も、みんなの楽しい様子を沢山お伝えできるようにがんばります！

